



平成 30 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 三菱商事株式会社
代表者名 代表取締役 社長 垣内 威彦
(コード:8058、東証第 1 部)
問合せ先 広報部 報道チームリーダー
吉田 達矢 (03-3210-2007)

剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において平成 30 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を決議したと共に、期末配当予想の修正を行うことと致しましたので、下記の通り、お知らせ致します。

記

1. 剰余金の配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 30 年 5 月 8 日公表)	前期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期末)
基準日	平成 30 年 9 月 30 日	同左	平成 29 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	62 円	57 円	47 円
配当金の総額	98,360 百万円	—	74,530 百万円
効力発生日	平成 30 年 12 月 3 日	—	平成 29 年 12 月 1 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正の内容

	1 株当たり年間配当金(円)		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 30 年 5 月 8 日公表)	57 円	58 円	115 円
今回修正予想		63 円	125 円
当期実績	62 円		
前期実績 (平成 30 年 3 月期)	47 円	63 円	110 円

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の配当は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 理由

当社は、「中期経営戦略 2018」に基づき、キャッシュ創出額の範囲内で成長投資と株主還元を実行する方針としております。また、株主還元については配当を基本とし、持続的な利益成長に合わせて増配していく累進配当を基本方針としております。本日別途公表の通り、「事業系」「市況系」とともに巡航利益が順調に推移していることなどを踏まえ、当社の平成 31 年 3 月期の通期業績予想を連結純利益 6,400 億円に上方修正したことから、1 株当たり年間配当予想額を期初見通しの 115 円から 10 円増額の 125 円に修正致しました。また、平成 31 年 3 月期の中間配当についても、1 株当たり年間配当予想額の約半額とし、1 株当たり 62 円とすることを本日開催の取締役会で決議致しました。

以 上